

# [単体情報]

## 営業の概況

当中間期における業績は、次のとおりとなりました。

譲渡性預金を含めた預金等は、前年度末比1,047億円増加して5兆8,173億円となりました。貸出金は、前年度末比666億円増加して4兆6,175億円となりました。有価証券は、前年度末比1,080億円増加して1兆6,813億円となりました。

経常収益は、株式等売却益の減少等によりその他経常収益が減少したことなどから、前年同期比9億6百万円減少して544億80百万円となりました。一方、経常費用は、貸倒引当金繰入額の増加等によりその他経常費用が増加したことなどから、前年同期比6億51百万円増加して394億91百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比15億57百万円減少して149億89百万円となりました。また、中間純利益は、前年同期比5億87百万円減少して108億84百万円となりました。

銀行の安全性・健全性を示す単体総自己資本比率（バーゼルⅢ基準）は14.67%となりました。

中間配当金につきましては、1株につき7円といたしました。